

「さとうとしお」のちがいをつたえよう

さとうと しおは、どちらも しろくて、ちがいが わからないくらい そっくりだね。

さとうと しおの ちがいを つたえるには、どうしたら いいのかな？

「は」の つかいかたを マスターして、2つの ものの ちがいを つたえてみよう。

さとうとしおの おなじところを みつけよう

さとうとしおは、どんなところが おなじなのかな？

どちらも「しろい」

「さとう」と「しお」は、どちらも いろが「しろい」ね。

いろが しろいことを、それぞれ、つぎのように せつめいして みよう。

「さとうは、しろい です。」

「しおは、しろい です。」



どちらも「こな」

「さとうと「しお」は、どちらも とても ちいさい つぶが あつまった「こな」だね。

それぞれ、つぎのように せつめいして みよう。

「さとうは、こな です。」

「しおは、こな です。」

さとうとしおの ちがうところを みつけよう

さとうとしおは、とても にているけれど、ちがうところも あるね。
どんな ところが ちがうのかな？

さわったときの ちがい

さとうを さわってみると、べたべた するね。
しおは、さわってみると、さらさら しているね。

それぞれ、つぎのように せつめい してみよう。

「さとうは、べたべた しています。」

「しおは、さらさら しています。」



あじの ちがい

さとうを なめてみると、あまいよね。
しおは、なめてみると、しょっぱいね。
それぞれ、つぎのように せつめいして みよう。

「さとうは、あまい です。」

「しおは、しょっぱい です。」

なにから できているのかの ちがい

さとうは、「さとうきび」という しょくぶつから できているよ。
しおは、うみの みずから つくられて いるよ。

それぞれ、つぎのように せつめいして みよう。

「さとうは、しょくぶつから つくられて います。」

「しおは、うみの みずから つくられて います。」



「は」の つかいかた (ことばの まとまり)

「さとう」と「しお」のように、2つの ものの ちがいを つたえるには、それぞれが、どんなものなのかを くわしく せつめいすると よいね。

どんなものなのかを くわしく せつめいする ときには、「は」をつかって、ことばの まとまりを つくるよ。

たとえば、「さとう」と、「は」をつかって、「さとうは」という ことばのまとまりを つくるんだね。

この「は」は、はつおんする ときには 「は」ではなくて 「わ」と はつおんするので ちゅういをしよう。

「そら」と「うみ」を せつめいして みよう

「そら」と「うみ」の いろは どうかな？

「そらは、あおい です。」

「うみは、あおい です。」



「そら」と「うみ」は なにから できているかな？

「そらは、くうきで できています。」

「うみは、みずで できています。」

「いぬ」と「ねこ」を せつめいして みよう

「いぬ」と「ねこ」は どんなふうにあるかな？

「いぬは、4ほんあしで あるきます。」

「ねこは、4ほんあしで あるきます。」

「いぬ」と「ねこ」は どんなふうになくかな？

「いぬは、ワンワンと なきます。」

「ねこは、ニャーニャーと なきます。」

